

東日本大震災
久里浜医療支援
こころのケアチーム
第12班報告

平成23年6月8日

松本文彦 岩本亜希子 瀧村剛

- **派遣期間**

平成23年5月28日(土)～6月3日(金)

- **派遣場所**

岩手県大船渡市(大船渡地区・末崎地区等を担当)

- **メンバー**

松本文彦(看護師)

岩本亜希子(PSW)

瀧村剛(医師)



第12班 日程

5月28日(土)

東京駅発(09:00)→東北新幹線 → 水沢江刺駅着(12:30) → 水沢市内ホテルで引継 → 大船渡市でミーティング

5月29日(日)

終日大船渡市内巡回、避難所への挨拶、場所の確認等

5月30日(月)

県保健師よりオリエンテーションを受ける → 大船渡市内の避難所、仮設住宅等の訪問(全6件、うちアルコール3件) → 市主催の夕方のミーティング

5月31日(火)

大船渡市内の避難所、仮設住宅等の訪問(全5件、うちアルコール2件) → 撤退する他医療チームより引継 → 市主催の夕方のミーティング

第12班 日程

6月1日(水)

大船渡市内の避難所、仮設住宅等の訪問(全9件、うちアル
コール3件)

6月2日(木)

大船渡市内の避難所、仮設住宅等の訪問(全4件、うちアル
コール2件)、途中県主催の「住民向け健康教室」に関する打
ち合わせ会議出席 → 市主催の夕方のミーティング

6月3日(金)

水沢市内ホテルにて次班に引継 → 水沢江刺駅発(14:30)
→ 東北新幹線 → 東京駅着(18:00)

大船渡市街の様子①



被災した靴屋さんも復旧しました



太平洋セメントの炉を使って
がれきの焼却が始まりました

大船渡市街の様子②



地元の皆さんによる復興祭り



大賑わいでした

大船渡市の状況

- がれき撤去が進み、商業サービスも回復しつつある
- 仮設住宅の建設が進み、避難所が閉鎖、集約されつつある
- 着々と復興していく人と、自力では前へ進めない人との格差が広がっていく懸念

メンタルヘルスの状況

- 「今後はアルコールが問題となってくる」という問題意識は医療者間で共有されている → アルコール問題の掘り起こしできそう
- 周囲の復興のスピードと自らの回復の度合いを比べ、焦りを感じている方も
- 一度終結としたが、再び不調にない介入が必要となるケースもある
- 救援活動が一段落し、地域だけでなく、職域によるアプローチも求められつつある

**大船渡市の復興と
皆様のご快癒を
心よりお祈りしております。**